

水稻生育速報

令和4年7月28日
長岡農業普及指導センター

コシヒカリ定点調査ほの生育状況（7月28日現在、管内7か所平均）

草丈	: 94 cm	（指標値比	102 % = 並	）
茎数	: 397 本/m ²	（指標値比	113 % = 多い	）
葉数	: 13.2 葉	（指標値差	+0.5 葉 = やや多い	）
葉色	: 30.9 (SPAD)	（指標値差	-1.6 = やや淡い	）

○ 穂肥が施用されているほ場では葉色は維持しているが、依然として葉色は淡い。

今後の管理

1 葉色が淡い場合は追加の穂肥を施用

- (1) 今後も高温が予想されるため、コシヒカリの葉色が淡いほ場では、下表を参考に追加の穂肥を施用する（出穂期の葉色の指標値：SPAD 値 32～33）。
- (2) 全量基肥施用ほ場でも、葉色が淡い場合は追加の穂肥を施用する。

【追加の穂肥のめやす】

栽培体系		判断時期 葉色のめやす	施肥時期 施肥量	用いる 肥料
分 施	一般栽培 (化学肥料体系)	出穂期3日前の葉色 SPAD 値 31 以下のとき	出穂期3日前 窒素成分 1 kg/10 a 以下	化成
	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂期6日前の葉色 SPAD 値 33 以下のとき	出穂期6～3日前 窒素成分 1 kg/10 a 以下	有機 100%
全 量 基 肥	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂期10日前頃の葉色 SPAD 値 30 以下のとき	出穂期10～5日前頃 窒素成分 2 kg/10 a 以下	有機 100%

2 台風の動きに注意し、こまめな水管理を実施

- (1) 出穂・開花期はイネが最も水を必要とする時期のため、飽水管理の徹底を図る。
- (2) かけ流し等を行わず節水に努め、限りある用水を地域全体で有効に利用する。
- (3) フェーン・異常高温予想時は、地域の用水事情に応じて、事前に湛水する。

3 穂いもち防除とカメムシ防除を徹底

- (1) いもち病に弱い品種や多肥栽培のほ場で穂いもちの発生が多い場合は、穂いもちの防除を「出穂直前」及び「穂揃い期」の2回実施する。
- (2) 斑点米カメムシ類の防除は、品種ごとに出穂期を確認し、適期に実施する。

○ 農作業事故に注意しましょう。特に草刈り作業は周囲に気を配ってください。

○ 農作業時の熱中症に注意をしましょう。こまめな休憩と水分補給が大切です。

定点調査ほ場生育調査結果(令和4年7月28日現在)

指標値は5月10日移植を想定

品種	地点名	移植日	(参考) 前年 移植日	草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年 (cm)	前年比 (%)	指標比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	指標比 (%)	本年 (葉)	前年差	指標差	本年 (SPAD)	前年差	指標差
コシヒカリ	長岡市乙吉町 (長岡地域)	5/11	5/11	100	106	108	281	71	83	13.1	▲ 0.1	0.3	32.4	2.4	0.4
	長岡市菅畑 (栃尾地域)	5/18	5/21	83	101	90	440	109	138	13.3	0.7	0.9	30.7	0.5	▲ 1.3
	長岡市小国町二本柳 (小国地域)	5/12	5/13	95	97	103	378	101	105	12.6	▲ 0.8	0.0	31.7	1.4	▲ 0.8
	長岡市岩田 (越路地域)	5/9	5/10	98	98	107	438	113	122	13.2	0.4	0.4	29.6	▲ 1.6	▲ 3.4
	長岡市寺泊夏戸 (寺泊地域)	5/9	5/16	95	102	103	392	112	109	13.0	0.0	0.2	31.5	3.3	▲ 1.5
	長岡市中条北 (中之島地域)	5/3	5/5	92	97	100	330	115	92	13.0	▲ 0.4	0.2	28.8	2.4	▲ 3.7
	小千谷市鴻巣	5/12	5/13	96	107	107	521	146	149	14.0	0.5	1.4	31.8	▲ 1.0	▲ 1.2
	平均	5/10	5/12	94	101	102	397	109	113	13.2	0.0	0.5	30.9	1.1	▲ 1.6
	平場 平均※	5/8	5/10	96	101	104	360	102	101	13.1	▲ 0.0	0.3	30.6	1.6	▲ 2.1
	中山間 平均※	5/14	5/15	91	101	100	446	118	130	13.3	0.1	0.8	31.4	0.3	▲ 1.1

※長岡市乙吉町・長岡市岩田・長岡市寺泊夏戸・長岡市中条北の4か所を平場、残りの3か所を中山間地に分類。